

知的財産事例

medel me®(メデルミー)

同じ悩みを抱える人々の救いを目指して 些細な縁がきっかけで、アイデアの価値を知った

事業内容

2018年に登録(個人事業)
病児・障害児用洋服ブランド「Medel me」の製品プロデュース

知的財産権と内容

商標第6265232号	メデルミー,メデル
意匠第1669289号	肩・前開き ロンパース(半袖)
意匠第1710460号	肩・前開き ロンパース(長袖)

(2024年3月現在)

ACTIVITIES & ACQUISITION IS INTELLECTUAL DATA



代表取締役 原村 綾さん

介護育児をきっかけにアパレルでの経験を活かし起業

当社は2018年、先天的な持病から右半身麻痺を患うご子息の育児・介護と向き合う中で、寝たきりの子にも着替えをさせやすい洋服を作りたい、との思いから原村代表が起業。前職であるアパレルメーカーでの経験が実を結んだ面も大きい。知的財産を意識し始めたきっかけは、地域の「よろず支援拠点」が主催する創業支援セミナーに参加した際、当社の事業に新規性を見出したINPITの担当者から声をかけられたこと。当時は知的財産について漠然とした認識しかなかったものの、支援窓口で自社の発想が貴重なものであること、独自性の高さなどを説明され、自社の思いが詰まった商品・ブランドを確立していくために、知的財産の活用は重要な手段であることを理解するに至ったそうだ。

障がいに向き合う母たちへの温かいメッセージ性

最初に商標・ロゴの意匠を取得したブランド名「medel me(メデルミー)」は、「愛でる」と「me」をかけた造語で、原村代表のアイデアによって生まれた。障がい児の育児では、子どもとのふれ合いを尊く思う一方、辛さや焦燥感が拭えない日もある。しかし、まず“自分を大切にする”ことを考え、あえて子どもに集中しすぎないように意識を広げてみて欲しい…同じ立場の人々へのそんなメッセージを込めたという。また、ブランド名と複合してデザインされたロゴのモチーフ

であるパイナップルは、原村代表にとって心のふるさどであり、自由の象徴とも言えるハワイをイメージ。

“唯一無二”や“完全無欠”の花言葉をもち、南国ならではの軽やかな気風と、爽やかな風を連想させる力強い果実だ。「障がい児の育児では足りない部分に目が行きがちだが、そのまま完璧な唯一の存在なのだ伝えたい」と原村代表は話す。また、現在はハワイでの商品展開を目標としており、取引先探しに奔走中とのこと。「障がい児育児中の方々は、人目や移動の負担などを理由に外出を控えてしまう傾向があるが、今後は更にブランド力や信頼度を高め、販路を広げていくことで、いずれは自社の商品を買うことが外に出かけるきっかけの一つになれば嬉しい」とも語った。

経験者として追求する姿勢がオリジナリティに繋がった

当社では、2種類の「ロンパース(子ども用肌着)」でも意匠を取得している。製品開発で最もこだわっているのは「脱がせやすさ、着せやすさ」。マジックテープで肩部分、もしくは腕の部分までが大きく開く形状にすることで、頭から被るタイプに比べて着替えのストレスを大きく緩和した。また、子どもの身体の成長につれて着替えの負担が増加する側面に配慮し、乳幼児期を超えた110~150センチからサイズを展開。近年では需要に合わせて小さめサイズの販売も開始したところ、兄弟でお揃いにしたいといった要望もあり、障がい児の育児に限らずより幅広い支持を受けるように

なったという。実際の苦悩から生み出された商品は同じ経験をした方々の共感を呼び、メディアに取り上げられることも増えた。それと同時に類似の商品も見られるようになったが、原村代表はアパレル業界で福祉の視点が広がっていることの嬉しさを先に語る。権利化により、自社の“オリジナリティ”が守られることで、真に困っている人々が求める商品が作れているという自負に繋がっているようだ。

知財取得における苦悩



とはいえ、開発は簡単なものではなかった。原村代表はデザイナー主体のため、製造面は外部の工場を頼る必要があったが、まだ形になっていないものの必要性を伝えるのは苦労したという。そこで縁が生まれた1社ではご子息を連れて工場を訪ね、目の前で着替えを見てもらった。すると先方も問題を把握し、前向きに製品開発に協力してもらえ流れになったそうだ。



商標登録済みの「medel me」は、ロゴとの複合的な申請が行われているのが特徴

また、長袖ロンパースの意匠取得にあたっては類似品の存在により申請が拒絶されたことも。その際は商品の特徴を代表が細かく説明した上で、当時のパートナー弁理士から手厚いサポートを受け、対抗策を考えて再度挑戦した結果、無事意匠の取得に至った。「専門的な内容は難しいが、自分の想いを汲み取って権利化まで繋げてもらえた」と原村代表は語った。

知財取得を目指す経営者へのメッセージ

注目!

「開発者として、自分が思いついたものを誰にも渡したくない、という気持ちは誰にでもあると思う」と原村代表は話す。また、「そういった“想い”を守るために、知財を取得する行為には大きなメリットがある」と。加えて「一人では知財を取得しようとは考えなかったかもしれない。支援窓口の方に声をかけてもらったことでその価値に気付くことができた。様々な縁や、支えがあって今がある」とも語った。



意匠登録を行った半袖ロンパース。襟から肩、袖口までの上部がすべて開く仕様



知的財産活用のポイント

自社の独自性を信じ 真っすぐなポリシーを持つことが強みに

当社における知財取得は、原村代表が地域の創業支援セミナー等に積極的に出かけることにより、様々な縁が生まれたことが契機となっている。元々は自身の経験を活かした当たり前のアイデアだと考えていたそうだが、客観的な目線で見れば非常に

貴重で、守るべき権利と認められるケースも少なくない。また、原村代表のポリシーが明確、かつ一途なものであることも、周囲の人々の心を動かした一因なのではないだろうか。当社のロンパースは技術的にも複雑な方法が用いられており、今後は特許の取得も期待される。しかし、そのように知財の活用やシェアが広がっていく中でも、「medel me」という言葉に込められた意志は変わらずに受け継がれていくことだろう。

COMPANY DATA

取材：2024年3月

企業名：medel me®（メデルミー） 所在地：長崎県大村市松山町234-3 電話番号：090-9652-0926

URL：<http://medelme.com/> 創業：2018年 資本金：なし 従業員：1名

